



Ⅲ「木育」に基づく道民との協働による森林づくり

（「木育」に基づく道民との協働による森林づくりの概要）

「木育」の理念のもとに、道民との協働による森林づくりを進めるため、必要な情報の発信、森や木を活かした地域活動への支援、植樹祭や育樹祭等の開催などに一体となって取り組んでいます。

1 「北海道森づくりフェスタ2014」の開催

道と森林管理局では、森林・林業関係団体と連携し、道民の参加・協力による森林づくり活動の機運を盛り上げ、森林資源の循環利用や森林の役割の普及啓発、都市と地方の交流等を図るため、平成24年（2012年）より、植樹祭や育樹祭、道民森づくりネットワークの集いなどを「北海道森づくりフェスタ」として一体的に開催しています。



北海道森づくりフェスタ2014 開会式
（H26.5.10 道庁赤れんが庁舎前庭）

（1）植樹祭等の開催

緑豊かな住みよい環境づくりと緑に親しむ運動を推進するとともに、森林を育て、後世に引き継ぐ活動を推進するため、道民の方々の参加のもとで植樹祭等を開催しています。

【植樹祭等の開催状況】

区分	月日	場所	内 容
H21	6.7	えりも町	第60回北海道植樹祭 ・エゾヤマザクラ、ハンノキ、クロマツ、トドマツなどの植樹 ・参加者数：約1,600名
	10.17	苫小牧市 及び 千歳市	森林のつどい2009 育樹祭 ・アカエゾマツ人工林の間伐作業 ・参加者数：約200名
H22	5.30	下川町	第61回北海道植樹祭 ・ミズナラ、カツラ、イヌエンジュなどを植樹 ・参加者数：約1,800名
	10.2	南富良野町	森林のつどい2010 育樹祭 ・トドマツ人工林の枝打ち・間伐作業 ・参加者数：約150名
H23	5.29	帯広市	第62回北海道植樹祭 ・アカエゾマツ、ミズナラ、ハルニレなどを植樹 ・参加者数：約1,600名
	10.14	芽室町及 び音更町	森林のつどい2011 育樹祭 ・トドマツ人工林の枝打ち・間伐作業 ・参加者数：約150名
H24	9.22 9.29 10.6 10.13	札幌駅前地 下歩行空間	木育ひろば in エキチカ ・木育ひろば（木製遊具）、樹木の香り体験、カミネッコンづくり など ・参加者数：約3,600名

区分	月日	場所	内 容
H24	10.20	苫小牧市	育樹祭 ・アカエゾマツ人工林の間伐作業 ・参加者数：約80名
	10.21	当別町 (道民の森)	第63回北海道植樹祭 ・アカエゾマツ、ミズナラ、ハルニレなどを植樹 ・参加者数：約850名
H25	9.21 ～22	札幌駅前地下歩行空間	木育ひろば in チカホ ・木育ひろば(木製遊具)、木育教室(ウッドシェーカーづくり、マイ箸づくり) など ・参加者数：約1,900名
	10.12	当別町 (道民の森)	第64回北海道植樹祭 ・アカエゾマツ、ミズナラ、ハルニレなどを植樹 ・参加者数：約600名
			育樹祭 ・アカエゾマツ人工林の枝打ち・除伐作業 ・参加者数：約80名
H26	5.10	道庁赤れんが庁舎前庭等	森づくりフェスタ2014 開会式・「緑の募金」街頭募金 ・あいさつ、森づくり功労者へ感謝状授与、緑の羽の伝達式、街頭募金 ・参加者数：約200名
	6.8	当別町 (道民の森)	第65回北海道植樹祭 ・アカエゾマツ、ミズナラ、ハルニレなどを植樹 ・参加者数：約750名
	9.6	中頓別町	北のてっぺん もくいく交流会 in なかとんべつ ・森林散策、植樹、木エクラフト体験、カヌー体験など ・参加者数：10名



第65回北海道植樹祭



北のてっぺん もくいく交流会 in なかとんべつ



(2) 「道民森づくりネットワークの集い」の開催

様々な立場から森林に関わっているボランティア団体や道民、森林所有者、行政等が集い、活動情報や意見の交換、交流などを通じて、活動の輪を広げる機会として、「道民森づくりネットワークの集い」を開催しています。これまでに12回開催し、延べ約24,500名の参加がありました。

【「道民森づくりネットワークの集い」の開催状況】

年月日	場所	参加者数	プログラム
H21.10.24	赤れんが庁舎 会議室・前庭	約2,100名	森のテント村（森のワークショップ・ポスターセッション・森の木づかい広場）、森の車座ディスカッション など
H22.10.23	赤れんが庁舎 会議室・前庭	約2,200名	森のテント村（森のワークショップ・ポスターセッション・森の木づかい広場）、わたしの森写真広場 など
H23.10.22	赤れんが庁舎 会議室・前庭	約1,700名	森のテント村（森のワークショップ・ポスターセッション・森の木づかい広場）、わたしの森写真広場 など
H24.10.21	赤れんが庁舎 会議室・前庭	約2,200名	森のテント村（森のワークショップ・ポスターセッション・森の木づかい広場）、わたしの森写真広場 など
年月日	場所	参加者数	プログラム
H25.10.19	赤れんが庁舎 会議室・前庭	約2,200名	森のテント村（森のサイクル広場・森の木づかい広場・木育コーナー）、ツリーイング、木づかい講演会 など
H26.10.18	赤れんが庁舎 会議室・前庭	約3,200名	森のテント村（森のサイクル広場・森の木づかい広場・木育コーナー）、ツリーイング、木づかい講演会 など



森のテント村



木エクラフト体験



ツリーイング

2 「北の魚つきの森」の認定

地域住民が主体となり自主的な魚つきの森の保全・整備を行う仕組みを形成・普及するために認定制度を創設し、魚にやさしい森林づくりを推進しています。

これまでに、雄武町幌内川流域など15地区を認定しています。

【「北の魚つきの森」の認定状況】

年度	所在場所
H14	雄武町幌内川流域、乙部町来拝川流域、別海町内の森林全域
H15	奥尻町内の森林全域、函館市川汲川・大船川流域、増毛町内の森林全域、浜中町内の森林全域
H16	むかわ町イクベツ沢川流域、蘭越町内の森林全域、枝幸町問牧内川流域
H17	石狩市のうち旧浜益村内の森林全域、新冠町新冠川・節婦川流域、豊頃町内の森林全域
H18	占冠村トマム地区鵲川流域、滝川市江部乙町熊穴川流域

3 「札幌水源の森づくり」の開催

定山溪国有林は、札幌市民にとって豊かでおいしい水を育む大切な「水源の森」です。この「水源の森」との関わりを深め、貴重な財産として次代へ引き継いでいくため、平成16年から札幌市及び森林ボランティア団体などと連携して、「水源の森」に植えるポット苗木を市民のみなさんなどに作っていただくイベントを開催しています。平成26年度は、「札幌水源の森づくり2014」（主催：札幌市・北海道森林管理局）として、8月30日（土曜日）に「ポット苗木制作コーナー」、「森のコーナー」及び「水のコーナー」などを用意して札幌市創生川公園狸二条広場で開催しました。当日作成されたポット苗木（「カミネッコン」）300個は、10月4日、定山溪に植栽されました。

このイベントは、道が行うみどりのポイント事業の対象行事となっていたことから、ポイントを集め始めた参加者も多くいました。



「札幌水源の森づくり2014」の様子

植栽の様子

4 森林とふれあう機会の促進

道民の自主的な森林づくり活動や子どもたちの体験活動を支援するため、各種活動フィールドを提供しています。

【森林づくり活動へのフィールドの提供】

名称	箇所数	概 要
ふれあいの森 （国有林）	24	NPO などのボランティア団体と森林管理署（支署）とが協定を結び、林業体験や森づくりの活動などのフィールドを提供しています。
みらいの森 （道有林）	17	地域における森林ボランティア活動などを支援するため、森林ボランティア団体の植栽、下草刈り、枝打ち等ができるフィールドとして設定し、誰でも参加できるよう、レベルに合わせた技術指導や用具の貸出等を実施しています。
遊々の森 （国有林）	34	学校や教育委員会などと森林管理署（支署）とが協定を結び、子供たちに森林の中で「学び」、「楽しむ」ためのフィールドを提供しています。
げんきの森 （民有林等）	179	森林体験や森遊びを通じて子どもたちの「生きる力」を育てることをねらいに、子どもたちが体験活動や自由に遊べる森林として、全道の各市町村に設定しています。

5 バットの森づくり

道と北海道森林管理局では、バットの原料であるアオダモ資源の育成を図るため、「NPO 法人アオダモ資源育成の会」が取り組む植樹活動を支援するとともに、地域活動の活性化や試験研究等を推進しています。

【バットの森づくりの取り組み状況】

取 組	内 容
アオダモ植樹活動等への支援	NPO 法人「アオダモ資源育成の会」と協定を締結し、または共催して、当該団体が行うアオダモ資源の育成を目的とした森林づくりを支援しています。 ・国有林：胆振東部森林管理署、日高南部森林管理署 ・道有林：胆振総合振興局森林室  スポーツ少年団等参加による植樹 プロ野球選手との記念撮影
試験研究	(地独)道総研林業試験場では、国有林・道有林などをフィールドにアオダモに関する試験研究を実施し、普及用パンフレット「アオダモを種子から育てよう」を発行しています。

国有林内に設置した「バットの森」や、パンフレット「アオダモを種子から育てよう」の詳細については、下記 URL からご確認ください。

- ・「バットの森」の URL：<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/rest/story/bat/index.html>
- ・「アオダモを種子から育てよう」の URL：<http://www.fri.hro.or.jp/kanko/fukyu/pdf/aodamo.pdf>

6 伝統的工芸品二風谷アットゥシの原材料確保に係る連携

平成 25 年 3 月に「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」の指定を受けた「二風谷アットゥシ」は、沙流川流域で入手が困難となりつつあるオヒョウの樹皮を原材料にしています。二風谷アットゥシを製造する二風谷民芸組合は、これまで、国有林内でオヒョウ樹皮を採取してきましたが、近年、採取地が奥地化するなど原材料の安定確保が課題となってきています。

このため、道では、北海道森林管理局、北海道立総合研究機構林業試験場と連携し、国有林に加え道有林の森林資源も活用するため、平成 25 年 11 月に国有林トマム地区と道有林上川南部管理区で現地検討会を開催したほか、平成 26 年 1 月に「オヒョウの持続可能な利用方策検討会」を設置し、「オヒョウの持続可能な利用方策」を作成しました。

今後は、利用方策に基づき、国と道が連携し計画的な原材料確保に取り組むこととしており、平成 26 年度 6 月には道有林上川南部管理区において、二風谷民芸組合がオヒョウ樹皮の採取を行いました。